2023 年度 通常社員総会 議事録

Ⅰ. 会 議 名　　:(公社)日本地すべり学会 2023 年度通常社員総会
Ⅱ. 開催日時　　:2023 年 6 月 9 日(金) 11 時 00 分～12 時 00 分
Ⅲ. 開催場所　　:TKP ガーデンシティ渋谷 ホール 4C
Ⅳ. 現社員数　　:73 名
Ⅴ. 社員出席者　　:会場 18 名, オンライン 17 名, 委任状 26 名, 書面議決 6 名 (計 67 議決権)
Ⅵ. 議長　　:宮沢 洋介(中部支部)
Ⅶ. 議事録署名人　:清水孝一(関東支部), 井藤嘉教(新潟支部)
Ⅷ. 出席理事　　:笹原克夫,榎田充哉,浅野志穂,飯沼達夫, 新井場公徳, 宇次原雅之, 佐藤剛
Ⅸ. 出席監事　　:相楽渉
Ⅹ.議事録作成　　:藤元亮

Ⅰ. 定足数および決議の確認

新井場専務理事によって，総社員数・委任状数・定足数・決議が以下のとおり確認された。定款第 22 条に基づき，社員出席数は総会開催の定足数を満たしていることから，社員総会は成立し，開会宣言がなされた。

- 総社員数：73
- 出席した社員の数：18 名
- オンライン参加した社員の数：17 名
- 委任状により議長へ議決権を委任した社員の数：26
- 書面により議決を提出した社員の数：6
- 総会開催に必要な出席社員が有する議決権の数（委任含む）： 67（総社員数 73 の過半数）
- 総会において決議に必要な議決権の数：34（出席社員が有する議決権の数（委任含む）67 の過半数）

Ⅱ. 議長及び議事録署名人の選出

- 新井場専務理事が，議長の選出（定款第 20 条）および議事録署名人の選任（定款第 24 条）について説明した。
- 議長への立候補者はなく，新井場専務理事より宮沢洋介社員を推薦する意見が出され，宮沢洋介社員が議長へ選出された。
- 議事録署名人への立候補者はなく，新井場専務理事より清水孝一社員，井藤嘉教社員を推薦する意見が出され，清水孝一社員，井藤嘉教社員が議事録署名人へ選任された。

Ⅲ. 審議事項

➢ **第1号議案 「2022 度(公社)日本地すべり学会貸借対照表，正味財産増減計算書及び財産目録承認」の件**

飯沼総務部長が，配布資料に基づき，2022 度（公社）日本地すべり学会貸借対照表，正味財産増減計算書及び財産目録について説明した。

また，相楽監事が，監査結果を報告した。

第 1 号議案に対し，質疑応答はなく，第 1 号議案は承認 67，非承認 0 で承認された。

Ⅳ. 報告事項

① 2022 年度（公社）日本地すべり学会事業報告の件

飯沼総務部長が，配付資料に基づき，2022 年度（公社）日本地すべり学会事業報告について説明した。質疑応答はなく，本件は了承された。

② 2023 年度（公社）日本地すべり学会事業計画の件
③ 2023 年度（公社）日本地すべり学会収支予算の件

飯沼総務部長が，配付資料に基づき，2023 年度（公社）日本地すべり学会の事業計画及び収支予算について説明した。この後，下記の質疑応答ののち本件は了承された。

- 会員数対策，若手対策について，支部に対して若手勉強会を支援頂いたが，中堅のメンバーも活発な研究活動等の支援の枠を広げて頂きたい。この観点で言うと，研究委員会の参加の敷居が高いように感じており，覗きがてら WEB 等での参加もできるとよいと考える。また，支部でも研究委員会をやりたいと考えている。
  →研究委員会は，学会の研究活動の活性化と若手・中堅の活動の活性化を目的として立ち上げた経緯がある。敷居が高いとのご指摘であるが，委員の公募は，公益性を確保することを念頭にオープンにしている。会告の委員の公募を見逃さないようにして頂きたい。支部の委員会活動は，実態として活発に行われている。是非活発に活動して頂きたい。
- 若手がなかなか入ってこない状況にあり，支部も高齢化している。若手対策の情報交換の場を設けていただきたい。
  →支部で行っている若手対策のネットワーク化を進めていくことを検討していきたい。

➢ その他

議長が社員にその他の事項について意見を求めたが，特に意見はなかった。

議長が閉会を宣言した。

議　　長	宮沢　洋介	㊞
議事録署名人	清水　孝一	㊞
議事録署名人	井藤　嘉教	㊞